



ネコはどうしてあちこちひっかくの

つめをとぐため

ネコは肉食動物で、ネズミなどをとらえて食べます。つめは、えものをとらえる道具として大切なものです。ネコのつめは、人間のつめもそうですが、何枚ものうすいつめが重なって1枚のつめができています。古くなると、外側の1枚をはがします。中から新しくとがったつめが出てきます。この動作を「つめとぎ」とよんでいます。

ネコのつめは、使うときだけ出す

ネコのつめは、出し入れできます。ふだんは奥のほうにひっこめています。必要なときだけ、つめを出すことができます。

動物（ネコ以外）のつめは、ときどき切ってやる

つめはそのままにしておく、と、どんだんのびます。人間はつめ切りでときどき切りますが、切らずにしておく、次第に先が内側にカーブしてきます。動物のつめも同じようにのびますが、地面でこすれたり、ひっかいたりするため適当にこすれて、特に切る必要はありません。

しかし、せまいおりの中でかわれている動物は、つめとぎの機会が少なく、のびすぎたつめが、足のうらに突きささり、けがをすることがあります。こんなことのないように、家で飼うウサギやハムスター、モルモットなどはときどき、つめ切りをしてください。

（監修・今泉 忠明）



必要なときだけ、つめを出す

